まさご

加藤ふち先生 書

発行所
および事務局
沼津市大岡字自由ヶ丘1979
加藤学園高等学校内
真砂会
電話 921-0347（代表）
携帯 090-4790-0054
mail:masagokai80@docomo.ne.jp

印刷所
株式会社 耕文社
電話925-0016

『魁』

加藤　正秀
〈理事長〉

御挨拶

加藤　瑠美子
〈学校長〉

真砂会会員の皆様、大変ご無沙汰を申し上げております。私たちがかつて遭遇した事のない新型コロナウイルスの出現により日常生活は一変致しました。普段通りの会話・会食・旅行などが制限され、いつ昔の様な日々がおとずれるか想像もできません。その様な折、創立者の五十回忌がございました。誕生日が四月一日ですので、誕生日はむかえたいという気持ちを強く持っていたと思います。棺の中に愛してやまなかったつつじの残り花を入れた事をあざやかに覚えております。学校・生徒・卒業生をわが子の様に愛した創立者は唯一無二の存在です。遺訓を守りながら創立百周年に向けて精進して参ります。

真砂会の会員の皆様におかれましてもお健やかにおすごしいただくと共に同窓生の応援が私達にとりまして何よりの力となっております。よろしくお願い申し上げます。

御挨拶

小池　ふみ子
〈真砂会会長〉

新しい年を迎え、会員の皆様方におかれましては、ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、世界中で猛威をふるっているコロナウイルスですが、どんどん変化し新種のウイルスが出現し、いつになったら収まり普通の生活ができるのかともどかしく思います。この時代ですから海外でのお仕事・留学等渡航が必要な方々はいっぱいいらっしゃる中で断念したり、恐る恐る出かける、そして国内での移動でさえ気を使う、早くこんな状態が終わることを願ってやみません。

昨年七月三日に熱海市伊豆山地区逢初川で大規模な土砂災害が発生しました。多くの家が流され二十九人もの尊い命が失われました。一瞬にして土石流に飲み込まれていく報道を身震いしながら見ていました。次の日、学校にお電話し在校生の無事を確認致しました。熱海支部長様にも連絡を致しましたら、後日三名の会員の方が被災していらした事が分かりました。幸いにもご本人、ご家族様はご無事でいらして建物に被害があった様です。本当にご無事で何よりでした。被災なさいました皆様には心よりお見舞い申し上げいつ起こるか分からない災害時、私達会員の仲間としてできる限りの助け合いをして行きたいと思いました。

●総会中止のお知らせ

令和四年度の真砂会総会は、新型コロナ感染症拡大防止のため開催を中止いたします。

尚、五月二十一日に役員のみで決議を取らせて頂きます。

当日は学校施設の見学、及び部活動の様子等の見学も可能ですのでご希望がありましたら事前に事務局までご連絡ください。

総会決議につきましてはホームページをご覧ください。
www.masagokai.com
事務局　☎090－4790－0054

創立者 加藤ふぢ先生を偲んで「五十回忌に寄せて」

創立者　加藤ふぢ先生

思い出すままに

顧問　佐藤　美雪

昨年加藤ふぢ先生の五十回忌を済ませ、まさご新聞に思い出の記をとのお申し出がありました。創立者としてのふぢ先生のご生涯・ご遺徳の数々は諸々の記念誌・新聞紙上等で語られ、書き尽くされております。

ふと思い出したのは大先輩の「四十才が総会の当番学年です。お手伝いをして下さい」との言葉は初耳でした。まごまごしていた五月十日敬愛するふぢ先生が天寿を全うなさり悲嘆に暮れました。肝心な総会はどうなったのか記憶はすっぽり抜けています。現在も続く四十才の総会当番はこの時が始まりだったのでしょうか。四十才＋五十回忌、私の年令は？　忘れる事の多い昨今、少し生き過ぎたかなと思う一瞬でした。

四年制の女学校に入学し高校生として卒業する迄の戦中戦後の六年間夢中で過ごした思い出ばかりが脳裡を駆け巡ります。

短い期間でしたが学徒動員として東京麻糸で働いたこと、誇らしかったピンクの美しい学舎が沼津空襲で灰燼に帰し焼跡の整理に校長先生、校主先生とご一緒に汗を流した真夏の日々、大岡の地に学校が再建されることになり、残された女子寮の片付けは蚤に悩まされ後々迄語り種になりました。四本の柱が中央にあり板一枚で仕切られた教室は隣の授業が筒抜けでしたが時間割通りの授業は進み皆明るくて楽しい毎日でした。

校長先生のお掃除指導はとても厳しくて、廊下は束子と磨き砂で擦り糠袋でピカピカになる迄何日も掛かりました。被災校を見舞われた貞明皇后様行啓の折お付きの方が履物を替えましょうかとお言葉を掛けられたと後に耳にしました。学ぶ為の環境を整えるその為の努力の大切さを校長先生ご自身で雑巾を持たれ細々とご指導下さいました。反省録、朝礼や授業前の瞑想、朝行事等やがて忘れ去られてしまう些事ですが、現在の生活を振り返った時私の中に御教えの数々が生きづいていることを実感いたします。

ふぢ先生の建学の精神は正秀先生、瑠美子先生に受け継がれ私学として揺るぎ無い地位を築かれてまいりました。母校の発展の様を泉下のふぢ先生はあの大きな眼を細めて見守っておいでと思います。

役員で墓参の様子（毎年５月10日）

私の思い出

熱海支部　瀧野　慶子

昭和三十一年四月、あこがれの私立沼津女子商業高等学校に入学させて頂きました。

当時私は、女子だけの商業高校で珠算の優秀な先輩が在校されている、本校を第一志望校としておりました。ところが私達学年の受験の際に、何故か受験日が県立校と同日となり、私立校と公立校の併願が不可能となりました。私は始めから本校を単願と決めていましたので迷う事もなく受験をしました。

入学後に何故、公立校と受験日が同日（三月）になったのか？　疑問でしたので、お伺いしたところ県側の要望で「貴校の商業課を是非県立高校にして欲しい」と依頼がありましたが、創立者ふぢ先生は「私の教育方針があるので県立には出来ません」と申し上げたところ県側では「それでは受験日を県立校と同日にして欲しい」となったそうです。私はその事を知った時〝流石〟と校長先生の教育に対する熱意を実感し納得出来た事を思い出しました。この件は我が学年のみのようでした。

創立者ふぢ先生の教育理念である校訓「至誠」が今でも大切に伝承されています。

現在の本校は男女共学となり、更なる発展をされております。生徒達も校訓をしっかり学び、各方面で大活躍をされております。

私達時代では考えられなかった、高校野球の県代表として甲子園大会に出場されました。その他各分野でも好成績を挙げ、文武両道の「加藤学園」として名声を博しており、私達の誇りです。その原点には、校訓「至誠」があり、いつの時代でも、誠実で品位に満ちた人柄は男女の別はなく、社会の中で求められる貴重な資質です。私達が学んだ時も「至誠…まごころを尽くす」「心豊かな人づくり」等校長先生のご講和を思い、今も私の人生の教訓とさせて頂いており、感謝申し上げております。

偉大な創立者ふぢ校長先生が昭和四十七年五月十日にご逝去されました。例年は「真砂会支部総会」の折にお墓参りをさせて頂きますが、昨年はコロナ禍のため総会も出来ず、墓参も出来ず残念でした。

このような時世をチャンスに変えて、どうぞ今年は良い年でありますよう、皆様がご健勝にてご活躍くださいますように、そして母校の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

真砂会入会式

新しい真砂会室で委嘱状伝達

活躍している卒業生に聞きました！

岩﨑志保（いわざきしほ）　平成 23 年３月卒（62 回生）

大学時代からモデル活動を開始

フルマラソン完走経験あり

2016 年「adidas Runners Tokyo」のキャプテンに就任

2020 年 BASI Mat Pilates Instructor 資格取得

Q１　加藤学園卒業後は？

獨協大学入学・卒業

Q２　現在の仕事は？

モデル

フィットネスインストラクター

Q３　今努力している事は？

インプットとアウトプット。そもそも努力とは思っていないかも。自分が好きでやっている事だから取り組んでいるだけって感じかな。

Q４　加藤学園に在学していた事で、今役に立っている事は？

コミュニケーション力かな？

あとは友達と過ごした時間とか勉強の中で分からない事があったら、すぐ先生に聞きに行ってた。職員室もしょっちゅう顔出したり。先生とすごいラフに話していた！　先生達がやさしかったっていうのもあるけど(笑)。でもそれがあったから社会人になってもコミュニケーション取るとき自然と話せてる自分がいたし、先輩達に可愛がってもらえる機会が増えたかな？

Q５　在校生に伝えたい事は？

どんな些細な事でも『これやってみたい』と思う物事があれば失敗や周りの意見は気にせずにチャレンジしてほしい！

自分もみんな位の時によく言われたけど、三十歳の前になってこれ、痛感しています。やらぬ後悔よりやる勇気！

Q６　今一番したい事は？

文面ではなかなかテンション感も伝わらないし、在校生に向けてトークイベントとかもやりたいなぁ～。ピラティスのレッスンとかも！　メンタル面の事、フィジカル面の事自分を大切にして欲しい事等を在校生に伝える機会があったらやりたいです。

SIXPAD HOME GYM 年間総合ランキング１位インストラクターに選ばれた

真砂会歴代会長と歴代の校章

沼津淑徳
女学院時代
大正15年～昭和2年

沼津淑徳
商業女学校時代
昭和3年～昭和9年

沼津女子
商業学校時代
昭和10年～昭和22年

沼津女子商業時代
英語追放の戦時中
昭和16年～昭和22年

第一次沼津女子
高等学校時代
昭和23年～昭和28年

沼津女子商業
高等学校時代
昭和29年～昭和40年

第二次沼津女子
高等学校時代
昭和41年～昭和51年

現在の校章
昭和52年～現在

(故)夏目　千代子様
(昭和30～44年度)

(故)宮本　きく様
(昭和45～46年度)

(故)熊倉　千枝子様
(昭和47～52年度)

(故)酒井　喜代子様
(昭和53～56年度)

(故)和田　閑代様
(昭和57～62年度)

長澤　とみ子様
(昭和63～平成3年度)

生田　亘様
(平成4～7年度)

佐藤　美雪様
(平成8～11年度)

(故)高田　晴美様
(平成12～15年度)

中澤　洋子様
(平成16～17年度)

五十嵐　美江子様
(平成26～29年度)

小池　ふみ子様
(平成18～25年度
平成30年～現在)

真砂会役員名簿

名誉顧問　加藤　正秀
名誉会長　加藤瑠美子
顧　　問　長澤とみ子
　　生田　亘
　　佐藤　美雪
　　五十嵐美江子
会　　長　小池ふみ子
副 会 長　加藤　孝子
　　小針真奈美
　　髙嶋　一生
会　　計　渡邉　佳織
会計監査　岩﨑　利香
事務局長　土屋　稿二
事 務 局　杉山　浩美
　　長谷川　恵
文化祭係　三十回生
　　五十回生
新 聞 係　六十五回生
熱海支部長　窪田　政子
真砂会担当先生
　　前田　恵美　先生
　　相羽真由美　先生
　　遠藤　真一　先生
　　森　聡太郎　先生
　　望月理緒奈　先生

令和三年度卒　真砂会　学年幹事

SPⅢ1／齋藤　祥希・齋藤　絢音
SPⅢ2／國原　幸祐・奥田　千尋
SPⅢ3／杉野　友哉・三ツ木玲夏
SPⅢ4／中川　聖也・川口　茜
PⅢ1／佐藤　大知・手綱　美尋
PⅢ2／中澤　秀斗・勝又　桜
PⅢ3／吉村　海音・小城悠亜貴
PⅢ4／佐野　陸斗・飯田　凪咲
PⅢ5／平尾　勝多・井田　純麗
PⅢ6／佐藤　稜太・小池まりな
PⅢ7／山本　侑李・川村　優奈
GⅢ1／近藤　拓磨・飯塚美生菜
GⅢ2／菅尾　優斗・山本　怜奈
GⅢ3／久保田優樹・松永　悠花
GⅢ4／飯島　楓・田村　歌音

●編集後記● 今回の「真砂会新聞」（しんじゃ会ではありませんよ）は会長である小池さん中心に記事や構成を考えて頂きました。加藤学園や真砂会の歴史。歴代の真砂会会長の変遷を追いました。

元女子校だけあって現在まで男性が会長を務めたことはなく歴代会長は全員女性という事に加藤学園の歴史の深さを感じました。

私自身は男性なのですが現在真砂会の役員としてお手伝いをさせてもらっています。まだまだ男性の役員は少ないのでこれからどんどん男性の方も入って頂き活躍できる時代が来るのかなと考えております。

最後となりますがここまで読んで頂き有難うございました。新聞の内容に関しては味のある内容に仕上がったと思っています。

また新聞に対するご意見ご感想等あれば真砂会までご連絡ください。

次回も宜しくお願い致します。

真砂会一同